2024 年 5 月 10 日
環境社会配慮助言委員会委員長　原嶋　洋平
担当ワーキンググループ主査　石田　健一

モロッコ国ガルブ地域灌漑開発事業
（協力準備調査（有償））
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

・日時：2024 年 4 月 19 日(金) 14:00～18:12
・場所：JICA 本部（2 階 229 会議室）及びオンライン
・ワーキンググループ委員：石田委員、小椋委員、二宮委員、山岡委員、米田委員
・議題：モロッコ国ガルブ地域灌漑開発事業（協力準備調査（有償））に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
・配付資料：
　1） DFR_モロッコ国ガルブ地域灌漑開発事業（協力準備調査（有償））
　2） EIA_モロッコ国ガルブ地域灌漑開発事業（協力準備調査（有償））
　3） RAP_モロッコ国ガルブ地域灌漑開発事業（協力準備調査（有償））
　4） 【SC 案助言対応表】モロッコ国ガルブ地域灌漑開発事業（協力準備調査（有償））
　5） 【SC 案時回答表】モロッコ国ガルブ地域灌漑開発事業（協力準備調査（有償））
　6） 回答表
・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010 年 4 月）

全体会合（第 156 回委員会）

・日時：2024 年 5 月 10 日(金) 14:00～16：22
・場所：JICA 本部（2 階 229 会議室）及びオンライン（Teams）

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. 本事業の灌漑のための最大取水量 24 ㎥/s と将来の灌漑地区拡張に伴う最大取水量 60 ㎥/s を決定した根拠をまとめて FR に記述すること。

2. 本事業対象地域の降水量及び取水対象となる Ouergha 川流量の近年の減少傾向に鑑み、本事業の持続可能性の観点から、水管理の重要性を利用者に十分に説明するよう、実施機関に申し入れること。

社会配慮

3. 暗渠水路及びパイプラインの上部利用として造られる維持管理用道路について、道路構造物の荷重制限等の範囲で農作業や一般の通行に供されるよう実施機関に申し入れること。

ステークホルダー協議・情報公開

4. 灌漑用水の利用に関して、個々の利用者が PPP 事業体（事業目的会社）と契約を結ぶとのことであるが、利用者の過度な負担にならない灌漑用水の契約単価を設定するように政府機関が関与することを実施機関に申し入れること。

5. 学校整備計画への影響など、ステークホルダー協議で明らかになった懸念等について、関係者の十分な理解を得られるよう引き続き協議を継続することを FR に記述すること。

以　上